

2021年11月15日（月）【「世界の人たれ」講演会を実施しました】

講師 永瀬 開 氏

山口県立大学 社会福祉学部 准教授

2007年3月 島根県松江北高等学校 理数科 卒業

2016年3月 東北大学大学院教育学研究科博士課程後期終了(博士(教育学))

2021年4月 山口県立大学社会福祉学部 准教授

演題 「自己を知ること : 世界の人たる<わたし>について」

世界の人たるとはどういうことか。そもそも世界とは何か。そして、わたしとは何か。

心理学的観点から世界の人たる<わたし>について考察することのできた時間となりました。

人は、自分と他人との間の境界がはっきりしない乳児期から、両親や友人、教師など他者との関係の中で自己が育ち、高校生はアイデンティティの確立に悩む青年期にある。

アイデンティティを確立するには、①過去現在未来の自分を時間軸で考えること、②身近な他者とやりとりをすること、③「役割実験(学業、部活、ボランティア、アルバイトなど)」をすることが大事である。身近な他者と対話することで他者の考えを知り、自分の考えが明確になり、様々な活動を「全力で」することによって、自分の向き不向きや適所に気付いていくというお話を伺いました。

また、最後には、大学での4年間、何を学びどのように社会と関わっていきたいかを考えておくといよいよ進路選択への助言や今後どのように<わたし>を形作っていけばよいのか、人生の指針になるお話を伺うことができました。永瀬開先生、お忙しい中どうもありがとうございました。

